

2022年第1回KSBL理事長杯ルーキーリーグ大会 大会規定

【目的】

この大会は、新3年生以下の球児達が、多くの仲間と交流を持ち、勝負にこだわらず、大人と球児が野球を楽しむことを目的とする。

【注】原則3年生以下で行う。(但し、対戦相手チームの了承あれば4年生の出場も可能とする)

- ① この大会は「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球に関する事項」及び当大会規則と細則により行う。
- ② **選手の集合は試合開始予定時間45分前とし、先行後攻のトスを行う。**
ベンチは若番が1塁側とする。ただし本部の指示が優先する。ベンチに入れる指導者はスコアラーを含めて5人までとする。
投球練習は初回及び交代時は5球以内、その他は3球以内とする。
シートノックは4分とする。(天候等の状況によって行わない場合がある)
監督に一切、抗議権はない。ただしプレーの確認はできる。
ホームランラインは原則として60メートル以上とする。会場によっては本部の指示に従うこと。
大会会場には責任者を必ず配置すること。
- ③ 審判は相互審判を原則とする。服装は連盟の審判服を着用すること。
- ④ 雨天中止の決定は午前7時30分とする。各チームは大会本部に確認すること。
- ⑤ 試合球は、試合するチームで用意して下さい。
- ⑥ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切その責任は持たない。
各チームで責任を持って対応して下さい。
- ⑦ ボークは、適用しないが攻撃側が不利益を被ったと審判員が、判断した場合はノーカウントとして走者を戻し監督と走者に指導する。
- ⑧ 夏季期間は給水タイムを適切なイニング間で設けること。タイマーは停止される。

【細則】

- (a) 4回終了で試合成立とする。
- (b) 試合は、60分、5回戦とする。5回終了時、同点の場合は引き分けとする。
- (c) 塁間は21メートル、バッテリー間は14メートルとする。
- (d) **1イニング5点を取れば攻守交代をする。得点コールドゲームはなし。**
(例) 攻撃側が3点を取り、その後3ランホームランが出て6点となったとしても、スコアは5点として記録し、審判員はプレイが落ち着いてからボールデッドとして攻守交替をする。
- (e) 降雨、日没等、審判団協議により試合続行不可能となった場合は、**4回終了時後**であれば試合は成立する。
- (f) メンバー交代は自由として、再出場も可能とする。
(但し投手のみ1打者の打撃が完了するまでは交代出来ない)
- (g) 当日9名が揃わない場合でも、対戦相手チームの選手もレンタルも可能とする。
- (h) 9名以上の打撃も可能とする。(ベンチ入り全ての選手が打席に入ることが出来る)
打順についてはチームにて管理して間違わないようにする。もし、間違った場合はペナルティーはなく、気が付いた時点でカウントを引き継ぎ正規の打者に戻す。

- (i) 体操服やトレーニングウェアも可能とするがショートパンツの着用は出来ない。
背番号と帽子(チーム帽子の着用が望ましいが、その他の帽子でも構わない)は着用する。
- (j) メンバー表は必要とする。(自チーム分のみで本部、対戦チームに渡す必要はないが、
先行後攻のトスを行う時に本部、対戦チームに見せてお互いに人数、学年の確認をとる)
- (k) 試合本部は得点、試合時間、イニングについて管理を行う。
- (l) 勝敗は連盟として記録はしないが、試合消化の記録は実行委員会にて行いHPにアップする。
- (m) 大会規定や試合運営等について改正すべき点が見つかった場合は、開催中であったとしても
執行部が大会規定の変更を行う場合がある。